

# 新 日本語一手話辞典

日常生活でよく用いる手話の用例1万以上をイラストで収載した「新日本語一手話辞典」(全日本聾唖連盟・2万3100円)が発刊された。編集は社会福祉法人全国手話研修センター、日本手話研究所、監修は



**監修者インタビュー**  
 梅花女子大学/大学院文化表現学部日本文化創造学科 学科長  
**米川 明彦教授**

国内唯一の手話用例辞典、14年ぶり改訂  
 用例1万以上をイラストで収載



米川明彦・梅花女子大学大学院教授、発売元は中央法規出版。  
 同書は国内唯一の手話用例辞典で、14年ぶりの改訂となった。改訂では時代を反映し、新たに2000程

**ITや福祉・医療の用語さらに充実**  
 度の用例を追加。例えば「IT」や「システム」といった科学技術・ITの用語、さらに「NPO」「インフルエンザにかかるといふ表現を調べるときには、辞典で「インフルエンザ」をひいた後、「かかるといふ手間を要した。同書では「インフルエンザにかかるといふ例文を一発で検索できる。さらに「かかるといふ見出しをひけば「服をかける

「鍵をかける」「ソックスをかける」などの例文が並び、同じ「かかるといふ手話の形が異なることがはっきりわかる。索引も日本語の索引と手話の索引とがあり、手話を知らない人も

●第31回全国養護教員会研究協議会高知大会・第63回高知県養護教員前期研究協議大会 7月29日、高知市の高知県民文化ホールで開催される。  
 特別講演は「すべての子どもたちに今こそ必要な教育とは何か」(品川裕香氏・5667)。  
 ●第8回養護教諭のための精神保健講座 8月5日、兵庫県朝来市の学校法人生野学園生野学園中学校高等学校で開かれる。  
 内容は第24回子どもの未来セミナー「学校が児童虐待にできること」(小林美智子・子どもの虹情報研修

## 夏季大会

●全国養護教諭サークル協議会第41回全養サ岡山研究集会 8月6日、岡山市の岡山カンパニオンセンターで開かれる。  
 記念公演は「子どもの貧困」(吉川直樹・埼玉大学教授)。自主講座は「保健室で実践!ほんまもの健康法」(池ノ上洋子・元大阪府特別支援学校養護教諭ほか)ほか。  
 ●2011年度日本健康相談活動学会夏季セミナー 8月6、7日、徳島市の

日本知的障害者福祉協会の新刊図書

### はじめて働くあなたへ

— よき支援者を目指して —

1982年初版発行以来、福祉協会のロングセラーだった「はじめて働くあなたへ」が、19年ぶりに内容を一新して登場。新人支援職員やこれから知的障害福祉分野の支援者として働こうと思っている方、必携です。

●第44回東北学校保健大会(兼)2011年度秋田県学校保健研究大会 8月18日、秋田市文化会館で。記念講演は「秋田県の教育力の秘密」(学力・体力・不登校の少なさ)(阿部昇)。

●第23回(総)日本看護学校協議会学

第23回(総)日本看護学校協議会学が8月11、12日、富山市の富山国際会議場で開かれます。テーマは「いのちとやすらぎを支える看護の教育—深まらざるよう人間力・磨こう教育力—」。

特別講演は「フィジカルアセスメント教育」(山内豊明・名古屋大学医学部保健学科教授)。講演は「看護教育行政の動向」(島田千恵子・厚生労働省医政局看護課教育体制推進官)。シンポジウムは「看護教員のあり方」(シンポジストは永山くに子・富山大